



「まばたき」をすることはどうして

「まばたき」はワイパーの役割

「まばたき」をすることの理由の第一は、目の表面のごみをぬぐい取ることです。空気中には、目に見えないような細かなごみがたくさんうかんでいて、そのようなごみが、いつも目の表面にくっついているため、まぶたは、まばたきをすることによって、この細かいごみをぬぐい取っているのです。自動車のフロントガラスについて、雨やよごれなどを取る、ワイパーのようなはたらきをしているんですね。また、何かが飛んできたり、とつぜん強い光などを向けられたりしたときにも、目を守るために、自然にまばたきをしています。

目をいつもぬらしておくため

「まばたき」をすることの第二の理由は、目を、いつもなみだでぬらしておくことです。目の表面は、いつもぬれていなければなりません。目の表面がかわいてしまうと、表面が死んでしまい、病気の原因になるのです。そのため、なみだは、泣いたときや、目にごみが入ったときだけでなく、いつも少しずつ出ていますが、目の表面がかわいてしまいそうになると、まばたきをして、目の表面をなみだでぬらしているのです。

なみだの、大切な役割は

なみだは、いつも目の表面を少しずつ流れていて、ごみを取ったり、ばい菌が入ると殺したりして、わたしたちの目を守る、大切な役割をはたしています。

この、目の表面についているばい菌を殺す、薬のようなものは、リゾチームとよばれるものです。また、なみだの中には、ほんの少しですが、塩の成分もふくまれています。そのため、なみだはしょっぱいのです。（監修・保志 宏）

